

政策実現に向け、町長が方針を示す

# 施政方針

## 挑戦と持続

これまで経験したことのない急激な人口減や少子高齢化に加え、前例のない新型コロナウイルスの収束に向けた対策。新たな財源確保と事業の選択、新たなニーズを把握しスピード感ある政策実行を進めます。

「挑戦や事業の見直しを絶えず行い町の持続的な発展へ

本町におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大により、町民の皆様の日常生活や経済活動に大きな影響がでており、一刻も早くこの事態を収束するべく、令和5年度も最優先、最重要課題として施策を進めていきます。

本町の基本理念であります「子や孫へ、希望あふれる未来を創りつなぐまち」の実現に向けて、町の最上位計画であります「第2次錦江町総合振興計画（全面改訂版）」を着実に進めて行くとともに、地方創生総合戦略など

の各種計画の進捗状況や取り組み結果を検証しながら、町の持続的な発展に繋げていきます。

厳しい財政状況下ではありますが、町民の皆様様の安心安全を守る施策に取り組み、また新たなニーズにも迅速に対応できる体制づくりと、町民の皆様様の生活の質の向上に努めます。

このため、働き方に配慮しながら絶えず事業の見直しを行い、課題に挑戦し続ける精神を忘れず、持続可能な財政運営に向けて取り組んでいきます。



### 令和5年第1回 錦江町議会定例会

3月2日の令和5年第1回錦江町議会定例会初日、「新型コロナ対策を最優先、最重要課題とし、総合振興計画で掲げる10の基本計画に沿って基本理念の実現に向けた取り組みを進める」と施政方針を述べた新田敏郎町長。令和5年度当初予算など審議され予算総額96億6,676万円で新年度がスタートしました。



## 第2次錦江町総合振興計画 10の基本計画

施政方針1 「想い」に共感し、つながるまちづくり

- ▼ワーケーション施設の整備や山村留学を実施し移住・定住の促進
- ▼ふるさと納税を活用した魅力発信と新たな財源の確保、取り組みに共感する関係人口の創出・拡大
- ▼新たな奨学金制度を創設し将来に挑戦したいと思える環境整備

施政方針2 子どもたちが夢にチャレンジできるまちづくり

- ▼SDGsを中核に据え、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育む
- ▼ICT機器の活用を進め、情報教育やモラル教育の充実を図る
- ▼幼少期からの外国語教育の充実を図るために英語教室等を実施
- ▼都市部の高校生との交流を図るジュニアチャレンジ事業の実施

施政方針3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

- ▼データヘルス計画に基づく重症化予防に重点を置いた事業の展開
- ▼「国民皆歯科検診」導入の検討
- ▼2023年かごしま国体の成功に向け町民一体で進める
- ▼高齢者や交通弱者等の多様な移動手段確保のためコミュニケーションバスの再編・拡充の検討及びあいのりタクシー制度の運用を目指す

施政方針4 未来を託す子どもを育成するまちづくり

- ▼自立した人生観を育てる各世代型キャリア教育としてお仕事バイキングや夢発見プログラム、アントレプレナーシップ教育を推進
- ▼都市部との教育における地域格差解消に向けた公営塾の運営

施政方針5 多様性を活かした農業によるまちづくり

- ▼地域農業の将来のあり方を定めた「地域計画」策定の着手
- ▼青刈りトウモロコシを用いた地域内畜産飼料生産化に向けた提案
- ▼森林の大規模伐採と未造林による荒廃化対策として条例を策定

施政方針6 「支え合い」を実感できるまちづくり

- ▼「地域ごとの生活支援を行う下履きヘルパー制度」の検討
- ▼母子健康手帳などのデジタル化を進め切れ目のない子育てを支援
- ▼労働需要に対応するため特定地域づくり事業協同組合の事業開始

施政方針7 快適な生活環境のまちづくり

- ▼空き家対策として解体補助やリフォーム補助を引き続き実施する
- ▼木質バイオマス発電の安定稼働による持続可能な社会の構築
- ▼子育て世帯の町内定住を図るため子育て支援住宅の整備を進める

施政方針8 地域資源を活用した産業振興によるまちづくり

- ▼コロナ禍で注目される近場での観光「マイクロツーリズム」推進
- ▼商業、商店街の活性化に向けた利子補給や店舗改修事業の継続
- ▼町内資源の再構築や共創基盤の整備を図るためローカルベンチャーの開設準備を進める

施政方針9 地域の安全を守るまちづくり

- ▼大規模災害を想定した避難訓練の実施や児童生徒の防災学習強化
- ▼防災行政無線設備機器の更新、消火栓を地下式から地上式へ改修
- ▼見守りに対する脆弱性の軽減を図るため防犯カメラ設置等の検討

施政方針10 情報共有による住民参加・対話のまちづくり

- ▼町ホームページ等を活用し町民への情報伝達手段の強化を図る
- ▼マイナンバーカードを中心とした自治体DXの推進

一般会計当初予算

3月議会最終本会議で令和5年度当初予算が可決

# 66億3,540万円

前年度比3億1,602万円の増となった令和5年度一般会計当初予算。「人が信頼でつながり、幸せを積み重ね、人に投資するまち」を目指す、持続可能なまちづくりに向けた予算を施政方針に沿ってお伝えします。

令和5年度

# 当初予算

令和5年度一般会計当初予算の概要と地方交付税の推移、行政財政改革を進める錦江町の財政状況をお伝えします。

Point 1

財源の5割を依存する 国からの地方交付税

地方交付税は合併による優遇措置、段階的に減少する合併算定替激変緩和期間も終了。自治体規模相応の交付となるため今後は減少する見込みですが、「地域デジタル社会推進費」の延長や「マイナンバーカード活用特別分」の増額で令和5年度は0.4%増の約32.1億円と分析しています。

令和5年度の一般会計予算は前年度約比3億2千万円の増

第1回錦江町議会定例会で可決された今年度の一般会計当初予算総額は66億3,540万円と、前年度比3億1,602万円の増となりました。歳入は自主財源である町税を約6億円程度と見込んでいますが、予算全体に占める割合は1割にも満たない厳しい状況。光熱費や食料価格高騰などの影響でさらに厳しい状況が続くことも予想されます。

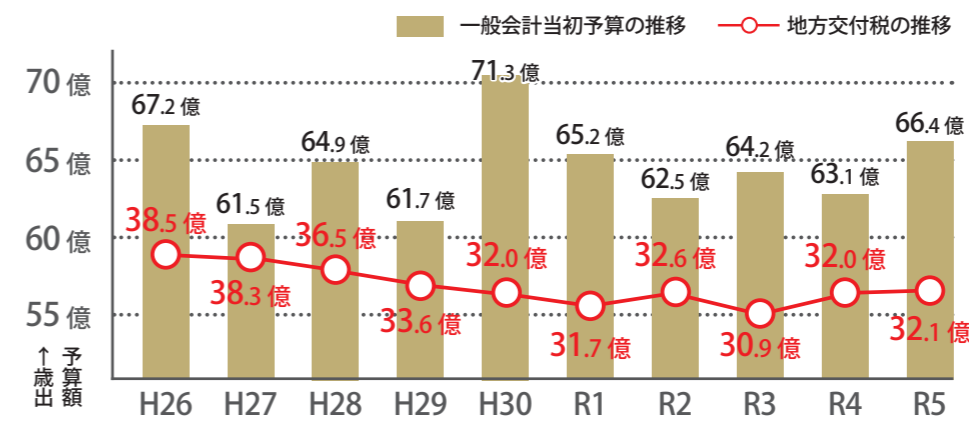
一方で依存財源である地方交付税は約32億円と歳入の半分を占めることから、国への依存度がかなり高い状態と言えます。さらに市町村合併の特例として、合併前の規模で地方交付税を算定する優遇措置は合併後10年目から段階的に減らされ、令和元年度でついに終了。今後は規

模相応の交付となりますが、人口推計によると令和22年の錦江町総人口は3千人台まで減少すると予測され、交付税増額は期待できないことから自主財源の確保が喫緊の課題であることには変わりありません。

抜本的な行政改革の意識が財政健全化に向けた重要な鍵

まちの体力を表すと云われ、「1」に近いほど自力があり低いほど国への依存度が高いとされる財政力指数は0・19と類似団体にくらべても低水準です。財政力指数でみても依存度が高い状況が続く錦江町。健全財政を維持するには、施設の集約化や適正な人員配置による人件費抑制など抜本的な行政改革と、危機的状況を乗り越えようとする一人ひとりの意識改革が重要な鍵を握ります。

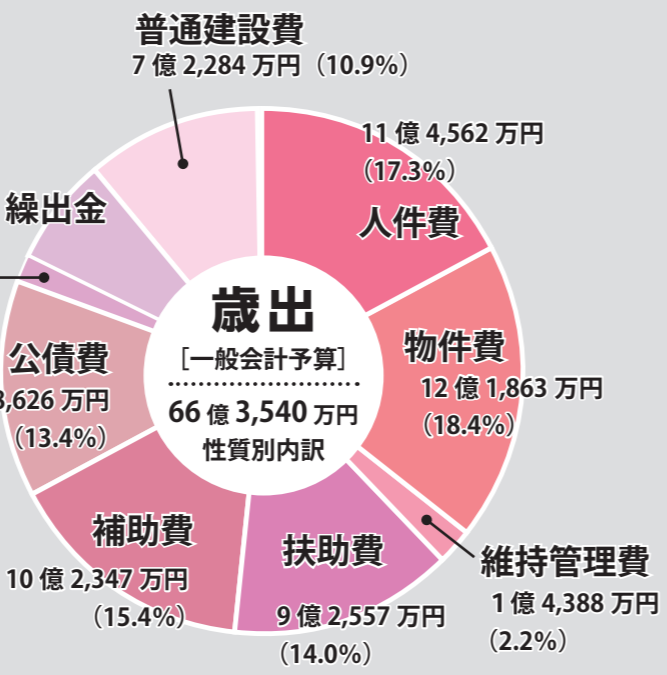
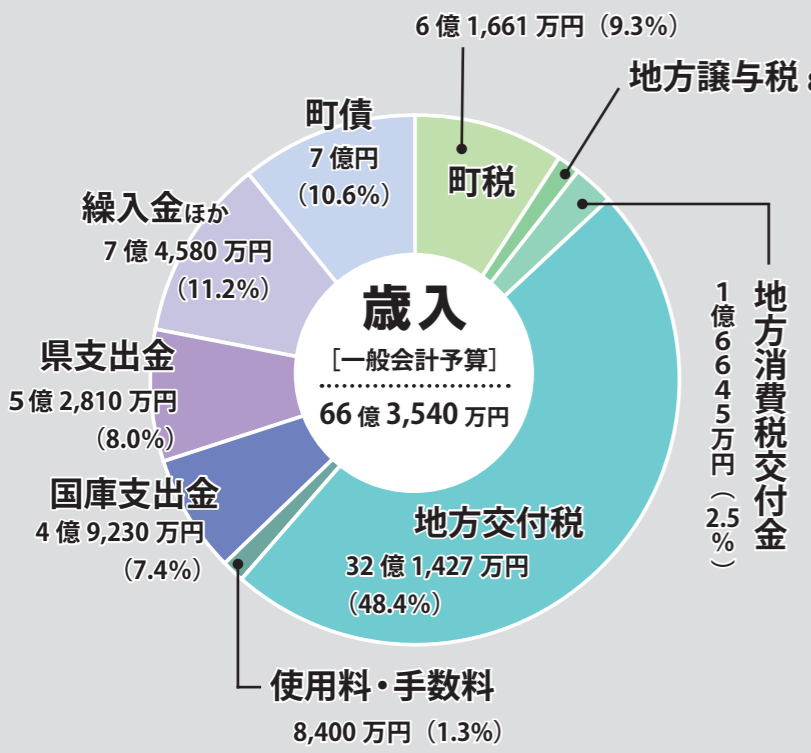
一般会計予算額と地方交付税の推移 平成26年～令和5年(10年間)



## 歳入 一般会計

自主財源である町税は6億1,661万円で歳入全体に占める割合のわずか9.3%。地方交付税は32億1,427万円、国庫支出金4億9,230万円、県支出金5億2,809万円となり、不足する財源は基金を取り崩して財源に充てています。歳入の半分を占める地方交付税にはデジタル社会推進費等の一時的なものも含まれており、安定財源確保に予断を許さない状況です。

令和5年度一般会計予算【歳入】



## 一般会計 歳出

歳出は前年度と比べ3億1,602万円の増額となりました。田代小学校体育館の改修や神川大滝公園の整備などが主な要因です。性質別では物件費が最も多く12億1,863万円、人件費が11億4,562万円と続きます。経常経費削減や事業見直しを図りながら財政のさらなる効率化を進めていきます。

令和5年度一般会計予算【歳出】(性質別)

Point 2

令和5年度の分かりやすい予算書 6月に自治会使送で全戸配布

令和5年度の各会計予算総額は96億6,676万円で前年度にくらべ4億1,294万円の増額となりました。予算書を分かりやすくまとめた冊子を全戸に配布しますのでぜひご覧ください。



▲令和5年度の「分かりやすい予算書」は6月の自治会使送便で全戸配布を予定しています

特別会計を含む令和5年度予算総額は96億6,676万円

会計	金額 (万円)
一般会計	66億3,540
特別会計 (6事業)	
国民健康保険事業	14億244
後期高齢者医療事業特別会計	1億4,425
介護保険事業 (保険事業勘定) 特別会計	12億8,683
介護保険事業 (サービス事業勘定) 特別会計	598
簡易水道事業特別会計	1億2,021
農業集落排水事業特別会計	7,165
令和5年度の予算総額	96億6,676

# 新規採用職員

一般枠、社会人枠を含めた6名の新規採用職員が各課に配属され4月からそれぞれの業務がスタートしました。自己紹介と決意もあわせて錦江町の新戦力ををご紹介します！



さかした・みちか

坂下 美愛 (22)

このたび、生まれた錦江町で働けることになり大変嬉しく思います。まだまだ分からないことも多いですが、1日でも早く仕事に慣れ信頼される職員になるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

総務課 総務チーム (錦江町)



えのきだ・はじめ

榎田 朔 (18)

錦江町の山や海に囲まれながら働けることを嬉しく思います。まだまだ分からないことばかりですが、これまで学んできた林業の知識をさらに深めて、錦江町職員としての自覚をもって精一杯頑張ります。

産業振興課 経済チーム (熊本県)



こたか・あやな

小鷹 彩奈 (35)

大好きな錦江町で働けることを嬉しく思っています。3月まで神川小に教員として勤務しておりました。これまでの経験を活かし、町民の皆様へ少しでも貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いします。

未来づくり課 未来づくりチーム (錦江町)



いとう・ゆうき

伊藤 優輝 (34)

新潟出身で前職は奄美で宿泊関係の仕事をしていました。走るのが好きで県下周回伝に4度出場しています。錦江町役場職員として活躍できるよう仕事も走りも元気に頑張ります。よろしくお願いします。

観光交流課 観光交流チーム (新潟市)



なかがき・ゆうさく

中垣 優作 (23)

今年度より錦江町役場に入庁しました。役場での業務や錦江町での生活など学ぶことが多いですが、これからしっかりと向き合っ、慣れていきたいと思っております。よろしくお願いします。

産業振興課 生産振興チーム (鹿屋市)



うえおぞの・たくみ

上大園 樹 (20)

4月から錦江町役場職員として働くことになりました。県立農業大学で学んだ畜産の知識を生かし、錦江町の畜産をさらに盛り上げられるように精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いします。

産業建設課 経済建設チーム (鹿屋市)

## 意欲ある挑戦者が新たな風を吹き込む

都市圏から意欲ある1名が新たに未来づくり専門員として着任。総勢7名の専門員が錦江町で夢実現に挑戦します！

宮崎より移住してきましたが出身地は鹿屋市です。これまでは医療、福祉の現場で認知症ケアをメインに看護師として勤務していましたが、これからは錦江町の皆様が元気に暮らしていけるように活動してまいります。



コミュニティーヘルパー専門員 / 所属 ▶ 介護福祉課  
鹿屋市 (宮崎県都城市から移住) / 友井川 愛 ▶▶▶

### 最長3年間で夢にチャレンジ

#### 地域おこし協力隊制度とは

総務省が進める地域活性化政策のひとつで、都市部から移住する人を自治体が募集し地域おこし協力隊として委嘱する制度。錦江町では地域課題解決に向けてテーマを設定し、未来づくり専門員として委嘱しています。意欲のある都市住民の感覚と、新たに吹き込む風を地域活性化への起爆剤として取り組んでいます。

新たな戦力を加えた108名の町職員で令和5年度がスタート

# 錦江町職員新体制



新たな戦力も加えた新体制で、将来に夢と希望が持てる「まちづくり」実現に向けて全力で取り組む職員を紹介します。

右肩下りの人口減少・少子高齢化時代に錦江町も合併時から下げ止まりが見えず、令和2年国勢調査の速報値によると5年間で900人以上減少し、ついに7千人を割り込みました。人口減とともに社会も大きく変化。錦江町においても職員数の適正化を図りつつ多様化する住民ニーズに対応できる人員配置と個々のスキルアップ、合理的なシステムを構築しながら行政サービス向上を進めています。

4月1日付で人事異動を行い新たに6名の新戦力も加えた錦江町の新職員体制。日々大量のデータが飛び交う情報化時代においても、その情報を使い制度を作る、そして実際に町を動かすためには「一人」の力が欠かせません。私たち職員一人ひとりが町のビジョンを描き、「夢と希望が持てるまちづくり」実現に向けて全力で取り組みます。

## 退職者

令和5年3月31日付で4名の錦江町職員が退職しました。



中山 美佳

退職



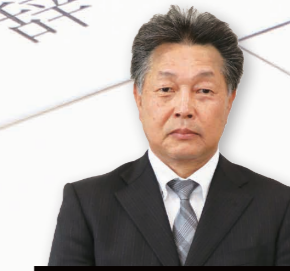
大西 千尋

退職



岩崎 史教

退職



川路 洋志

退職

## 人事異動

教育課で3年間勤務した尾崎裕樹参事兼指導主事が霧島市教育委員会で課長補佐兼指導主事として勤務します。後任として霧島市立小浜小学校から松澤亮二参事兼指導主事が着任されました。



松澤 亮二

着任 [霧島市立小浜小学校]



尾崎 裕樹

異動 [霧島市教育委員会]

教育委員会 教育長 畑中 清和

課等	課長等	課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員
教育課	菫浦 洋二	松澤 亮二 (参事兼指導主事)	教育総務	白井 寿子	川前 亮 萩原 修平
					▼以下学校給食センター
					柿迫 佐由美 牧 奈津美 柳田 里美
					馬込 さつき 有村 みゆき 新村あけみ [再]
					▼以下小中学校
生涯学習 国体室	舞原 千昭	田代 眞介 前野 眞隆 内倉 将太郎	川邊 孝一 牧原 幸司 有村なり子 [再]	邊志切 祐希 平石 龍之介	

議 会							
議長	笹原 政夫						
副議長	落司 道子						
事務局	永吉 和幸			[福園 正夫]	杉木 鈴奈		

監査委員							
代表監査委員	中村 貢						
監査委員(議会)	浪瀬 亮祐						
事務局	[永吉 和幸]			福園 正夫	[杉木 鈴奈]		

農業委員会							
会長	宿利原 勝吉						
事務局	[池之上 和隆]	[坂口 美智代] (次長)		永田 宗成	折久木まり子[再]	[舞原利博[再]]	

選挙管理委員会							
委員長	渡瀬 博夫						
事務局	[坪内 裕二郎]	[川路 昭典] (次長)			[田尻 健太]		

鹿児島県・大隅肝属広域事務組合 (派遣職員)							
高齢者生き生き推進課	小川 剛	(総務課付)	大隅肝属広域事務組合	樗木 勇利	(総務課付)		

錦江町役場 電話番号一覧表

課名等	チーム名等	直通番号	備考	課名等	チーム名等	直通番号	備考	
総務課	総務	代表電話	本庁2階	社会福祉協議会 ☎ 22-2000				
		☎ 22-0511		介護福祉課	福祉	☎ 22-3042	本庁1階 国道側	
	選挙管理委員会	☎ 22-3040	介護	☎ 22-3043				
		☎ 22-3045	包括支援センター	☎ 22-3030				
議会・監査事務局		☎ 22-3045	健康保険課	保険(国保)	☎ 22-3041			
政策企画課	政策企画	☎ 22-3032	本庁2階	住民税務課	保険(衛生)	☎ 22-3044		
					税務	☎ 22-3037		
					住民	☎ 22-3039		
会計課		☎ 22-3038	本庁1階	教育課	教育総務	☎ 22-0517	総合交流 センター	
産業振興課	経済	☎ 22-3034	本庁1階 東側		生涯学習			☎ 28-2488
	生産振興	☎ 22-3036			観光交流課			
	基盤整備	☎ 22-3035		民生	民生			
建設課	建設	☎ 22-3033		住民生活課	税務地籍	☎ 25-2511	田代支所 1階	
	水道			産業建設課	経済建設	☎ 25-1001		
	住宅			未来づくり課	未来づくり			旧神川中学校跡

町長部局

町長	新田 敏郎
副町長	有村 智明

# 職員配置図

本庁 〒 893-2392 肝属郡錦江町城元 963/ ☎ 0994-22-0511/FAX0994-22-1951

課等	課長等	参事・課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員
総務課	坪内 裕二郎		総務	平石 誠	[平石 誠] (総務担当) 小川 弘晃 坂下 美愛 今村 学 松元 美菜代 黒瀬 慎吾 田尻 健太
未来づくり課	中島 裕二		未来づくり	久保 伸一	小鷹 彩奈
政策企画課	高崎 満広	内木場 博之 (病院再整備対策監)	政策企画	上吹越 寿次	馬庭 司 長濱 幸治 小原 慎吾 福島 敬晃 坪内 なな子
住民税務課	落司 毅		税務	山王 洋介	藤崎 みずえ 徳永 雅信 濱田 久美子 桑原 直也 今熊武朗 [再]
			住民	磯元 隆宏	山下 知幸 原田 理穂 牧原 香陽 磯口ちどり[再]
介護福祉課	笹貫 新一郎	社会福祉協議会	福祉	濱田 竜大	徳永 勝志 鍋田 美和 神川 工樹
			介護	池水 国博	竹井 真知子 金川 美穂 本村 貴浩
			川越正治 (事務局長)		
健康保険課	猪鹿倉 勝志		健康増進	永濱 あけみ	中村 奈々 切通 淑美 富尾俊一 [再]
			保険	山本 昭八	上吹越 智子 持留 斗 古川 公規
産業振興課	池之上 和隆	押領司浩二 (農政技術補佐)	経済	水流 賢一	時吉 健二 祝 大介 田中 光 榎田 朔
			生産振興	坂口 美智代	小川 純一 中垣 優作
			基盤整備	畠中 裕文	
建設課	宮園 守	船迫 修一 (土木技術補佐)	建設	馬場 満博	袖山 仁志 迫 尚樹
			住宅水道	篠原 稔	壹岐 英星 笑喜 和也 榎木 慶太
会計管理者	鳥越 幸一				
会計課	[鳥越 幸一]		会計		壺崎 浩二 山元 大志

田代支所 〒 893-2492 肝属郡錦江町田代麓 827-1/ ☎ 0994-25-2511/FAX0994-25-2668

課等	課長等	課長補佐等	チーム名	チームリーダー	チーム員
支所長	川路 昭典				
観光交流課	木下 勝幸		観光交流	宿利原 伸一	永谷 美優 伊藤 優輝
住民生活課	[川路 昭典]		民生	中野 好太郎	鶴田 明 鶴田 美由紀 牧原 弘弥 淵田 由紀子 上園ひとみ [再]
			税務地籍	大浦地 毅	松尾 洋一 原澤 政徳 鶴園健郎 [再]
産業建設課	荒木 義文		経済建設	鳥井ヶ原 宣義	時吉 良美 上大園 樹 舞原利博 [再] 小鷹敬志郎 [再] 宮原賢志 [再]